

教材リスト

No.	題名	テーマ	時間（製作年）	種類
	内容			
1	プレゼント	子ども	15分（2003）	DVD
	いじめの原因についてはさまざまなことが考えられますが、他人に対する思いやりやいたわりといった人権尊重意識の後れがあると思われます。子どもたちに、身近な問題であるいじめについて考えてもらうことにより、自分の人権の大切さに気づき、さらに自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づいてもらう。			
2	桃色のクレヨン	子ども	28分（2006）	DVD
	人権尊重の意識とは、「かけがえのない命」の大切さを感じることであり、「思いやりの心」を大事にすることだと言えます。知的障がいのあることとふれあいを通じて大切なことに気付いていく主人公の姿をテーマにしており、子どもと大人と一緒に見て楽しめ、少しほろっときて、それでいて心が温まる作品です。			
3	見上げた青い空	子ども	34分（2007）	DVD
	学校におけるいじめ問題のドラマ。インターネットや携帯電話を使った陰湿ないじめ。いじめめる側といじめられる側が入れ替わるなどさまざまな問題が取りあげられています。ドラマに登場した役者がそれぞれの立場で語るパートもあり、いじめ問題を解決するためのヒントが盛り込まれています。			
4	私たちの声が聞こえますか	高齢者	30分（2007）	DVD
	近年、社会福祉施設等の入所者に対する身体的・心理的虐待等が表面化し、大きな社会問題となっています。施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、人権意識を高める取組として実際に施設内で行われた人権啓発活動の紹介等「どんな行為が入所者の人権を侵害する行為に当たるのか」ということが自然に理解されるような構成になっています。			
5	同和問題と人権	同和問題	28分（2009）	DVD
	同和問題とはどのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくなるのか。会社でセクハラなどの人権問題を担当する主人公を通して、同和問題について考えるアニメーション作品です。			
6	創作劇「空白のカルテ」	ハンセン病	72分（2009）	DVD
	甚目寺町の中学校に通う生徒が、1943年（昭和18年）のハンセン病強制隔離に抗した医師、小笠原登の研究室を訪れる。診察を受けにやってくる患者たち。そして彼らを強制隔離しようとする警官や県職員。彼らに対して小笠原登がとった行動とは・・・			
7	未来への虹	ハンセン病	30分（2005）	DVD
	ハンセン病患者・元患者に対する偏見や差別をなくすためには、ハンセン病に対する正しい知識を深めるとともに、ハンセン病患者・元患者が国の隔離政策によりどんなに身体的、精神的苦痛を与えられてきたかを広く社会の人たちに認識してもらう必要があります。この作品は、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたくても帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。			
8	平沢保治さんの講演(小学生中学年編)	ハンセン病	33分（2010）	DVD
	国立ハンセン病資料館の語り部活動は、ハンセン病の回復者が自らの体験を一般市民に語りかける場として設けられた啓発活動のひとつです。このDVDは平沢保治さんによる小学生中学年を対象にした講演を収録したものです。			

9	平沢保治さんの講演(小学生高学年編)	ハンセン病	36分 (2010)	DVD
	国立ハンセン病資料館の語り部活動は、ハンセン病の回復者が自らの体験を一般市民に語りかける場として設けられた啓発活動のひとつです。このDVDは平沢保治さんによる小学生高学年を対象にした講演と質疑応答を収録したものです。			
10	平沢保治さんの講演(中学生編)	ハンセン病	30分 (2010)	DVD
	国立ハンセン病資料館の語り部活動は、ハンセン病の回復者が自らの体験を一般市民に語りかける場として設けられた啓発活動のひとつです。このDVDは平沢保治さんによる中学生を対象にした講演を収録したものです。			
11	平沢保治さんの講演(教員編)	ハンセン病	44分 (2012)	DVD
	国立ハンセン病資料館の語り部活動は、ハンセン病の回復者が自らの体験を一般市民に語りかける場として設けられた啓発活動のひとつです。このDVDは平沢保治さんによる教員を対象にした講演を収録したものです。			